

2. 令和7年度の計画

整理 番号	事業名	実施箇所	全体 事業内容	事業実施目的	事業 予定 期間	全体 事業費 (百万円)	計画 (実績)	
							事業費	事業内容
1	復旧治山事業	福島町 (岩部覆道地先)	法枠工 伏工 法切工	令和4年8月の豪雨により山腹崩壊が発生し、直下の倉庫まで土砂が押し寄せた箇所である。 崩壊斜面が不安定な状態であり、今後の降雨等により再度崩壊、拡大崩壊の発生が懸念される。このことから保安林の指定目的でもある土砂崩壊防備機能の早期復旧、次期災害の防止を図る。	R04(補正) ～ R08	388	54	法切工
2	緊急総合治山事業	福島町 (滝ノ下覆道地先)	法枠工 伏工 法切工 暗渠工	令和4年7月の豪雨により山腹崩壊が発生し、直下の道道まで土砂が流出する被害を与え、道道が一時通行止めとなった。 崩壊斜面が不安定な状態であり、今後の降雨等により再度崩壊、拡大崩壊の発生が懸念されることから、土砂崩壊防備機能の早期復旧、次期災害の防止を図る。	R06 ～ R08	372	170	法枠工 伏工 法切工
3	緊急機能強化・老朽化対策事業	福島町 (福島地区)	土留工	当該計画地において、経年劣化により治山施設にクラックや欠損、鋼材腐食が進行しており、機能が低下している状況である。 クラックや欠損箇所の補修及び鋼材の腐食した施設の交換により機能回復を図る。	R05 ～ R07	61	27	土留工
4	開設事業	福島町 (桧倉川支線)	切土工 盛土工 土羽工 路盤工 コンクリート擁壁工 その他擁壁工 排水施設工 法面保護工 防護施設工 標識工	本林道の利用区域は、土砂流出防備保安林が主体となっており、間伐期を迎えた針葉樹や整備されていない天然林が大半を占めている。 本路線を整備することにより、低コストで効率的・計画的に森林整備を行え、形質の良好な木材の安定供給を図るとともに、森林機能を十分に発揮させることを目的としている。	R03 ～ R11	404	127	切土工 盛土工 土羽工 路盤工 コンクリート擁壁工 排水施設工 法面保護工 防護施設工 標識工